

環境経営レポート

活動期間: 2022年4月1日～2023年3月31日

発行日: 2023年5月11日

改定日: 2024年3月26日



光和産業株式会社

～ 目 次 ～

1. 組織の概要
2. 環境経営方針
3. 環境経営システム組織図
4. 環境経営目標と実績
5. 環境経営計画とその取組結果と評価、及び次年度の取組内容
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
7. 代表者による全体評価と見直しの結果

1.組織の概要

1、会社概要

事業者名	光和産業株式会社
代表者名	代表取締役 倉林 克典
設立年月日	1985年4月17日
資本金	2000万円
本社所在地	〒314-0141茨城県神栖市居切1347番地24
	TEL0299-91-1566 FAX0299-91-1567
	E-mail : kouwasanngyou@samba.ocn.ne.jp
環境管理責任者	専務取締役管理部長 三上 力
事業の概要	1,産業廃棄物及び一般廃棄物の収集運搬 * 1
	2,一般貨物輸送 * 2
	3,輸入業務 * 3
KWパレットセンター	〒314-0113茨城県神栖市横瀬2934-6
	TEL0299-91-1566 FAX0299-91-1567
	4,中古パレット修理販売・窯業サイディングプレカット加工 * 4
倉庫業	〒314-0252
	茨城県神栖市柳川1539-11
	5,弊社で輸入した原料保管。バラ貨物保管。原料運搬。* 5 エコアクション21対象外ですが、4年以内に取得予定。

*1 茨城県内外の顧客から産業廃棄物の収集運搬の委託を受け、県内(茨城県)及び県外(千葉県、栃木県、埼玉県)の中間処理委託業者へ搬入を行う。

*2 鋼材、樹脂、肥料、原料品をダンプ、ウイング車、平ボデー車で、主に関東の工場または現場へ運搬する。

*3 近隣工場で使用する原料(珪砂、雲母)を中国、ベトナムから輸入する商社業務を行う。

*4 使用済みパレットを有価で引取り、修理可能なパレットは、修理してリユース(再利用)用に販売する。住宅用窯業サイディング加工。

*5 海外から輸入された原料を1次保管し、ローリーに積替え近隣工場への納品。バラ貨物保管は、海外から船舶で近隣港に入港して、ダンプで倉庫まで運搬。その後、倉庫からお客様に納品。

2、対象範囲

本社	〒314-0141茨城県神栖市居切1347番地24
KWパレットセンター	〒314-0113茨城県神栖市横瀬2934-6
柳川1号倉庫	〒314-0252茨城県神栖市柳川1539-11 (4年以内に対象範囲拡大予定)

3、事業規模：業務取扱量、売上高等

本社	単位	2020年	2021年	2022年
収集運搬量	t	21,325	11,119	11,457
売上高	百万円	974	812	943
従業員	人	23	23	27
事務所床面積	m ²	69	69	69
敷地面積	m ²	2,163	2,163	2,163

KWパレットセンター	単位	2020年	2021年	2022年
売上高	百万円	—	15	43
従業員	人	—	11	7
床面積	m ²	—	1,004	1,004
敷地面積	m ²	—	1,664	1,664

4、許可の内容

産業廃棄物収集運搬

	茨城県	千葉県	栃木県	埼玉県
許可の番号	00801031229	01200031229	00900031229	01107031229
許可年月日	2021年10月5日	2020年7月27日	2016年4月26日	2021年10月29日
許可の有効年月日	2026年7月31日	2025年6月19日	2026年4月25日	2026年9月18日

産業廃棄物収集運搬

	静岡県
許可の番号	02201031229
許可年月日	2019年5月10日
許可の有効年月日	2024年5月9日

一般廃棄物収集運搬

	神栖市
許可の番号	指令第40号
許可年月日	令和4年4月1日
許可の有効年月日	令和6年3月31日

5、施設の状況 2022年3月31日

運搬車両の種類と許可車両

種類	台数	収集運搬	一般廃棄物	一般貨物運送	台数変更
ダンプ(大型車)	7	○	○	○	変更無し
ウイング(大型車)	6	○	○	○	変更無し
平ボデー(大型車)	1	×	×	○	変更有り
フォークリフト	5	×	×	×	変更無し

6、取り扱う産業廃棄物収集運搬の種類(積替え保管場所は無し)

・茨城県	積替え保管を除く: 燃え殻(セメント製造工程で使用できるもの限る。)、汚泥、廃油(廃油と汚泥の混合物を含む)。廃プラスチック類、木くず、ゴムくず、(以上は自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く)、鉄くず、(自動車等破砕物を除く)、ガラス屑・コンクリート屑及び陶磁器屑、がれき類(石綿含有産業廃棄物を除く)などの以上9種類
・千葉県	積替え保管を除く: 燃え殻(セメント製造工程で使用できるもの限る。)、汚泥、廃油(廃油と汚泥の混合物を含む)。廃プラスチック類、木くず、ゴムくず、(以上は自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く)、鉄くず、(自動車等破砕物を除く)、ガラス屑・コンクリート屑及び陶磁器屑、がれき類(石綿含有産業廃棄物を除く)などの以上9種類
・栃木県	積替え保管を除く: 廃プラスチック類、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリート及び陶磁器くず、がれき類 以上の6種類
・埼玉県	積替え保管を除く: 廃プラスチック類、木くず、ゴムくず、金属くず、汚泥、ガラスくず・コンクリート及び陶磁器くず、がれき類 以上の7種類
・静岡県	積替え保管を除く: 廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く)、鉄くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を除く)、汚泥、廃油、木くず

7、一般廃棄物収集運搬の種類

・神栖市	一般廃棄物 ごみ(可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ)
------	--------------------------

2.環境経営方針

《基本理念》

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、顧客から委託した産業廃棄物の収集運搬における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

《基本方針》

1. 下記の事項について環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
 - ①電力・化石燃料の使用量を抑制しCO2排出量の削減に努めます。
 - ②自ら排出する産業廃棄物を削減します。
 - ③顧客への環境に関する情報提供に積極的に取り組みます。
 - ④水資源の節減を図ります。
 - ⑤環境に配慮した設備、備品、消耗品、消耗工具の購入を推進します。
 - ⑥環境保安活動及び業務活動に於ける従業員教育の実施する。
 - ⑦分別の徹底で3R活動の推進に努める。
 - ⑧輸入先への環境状況のチェックを年/1回、現地調査する。
2. 環境関連法則制や当社が約束したその他の法則制を遵守します。
3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

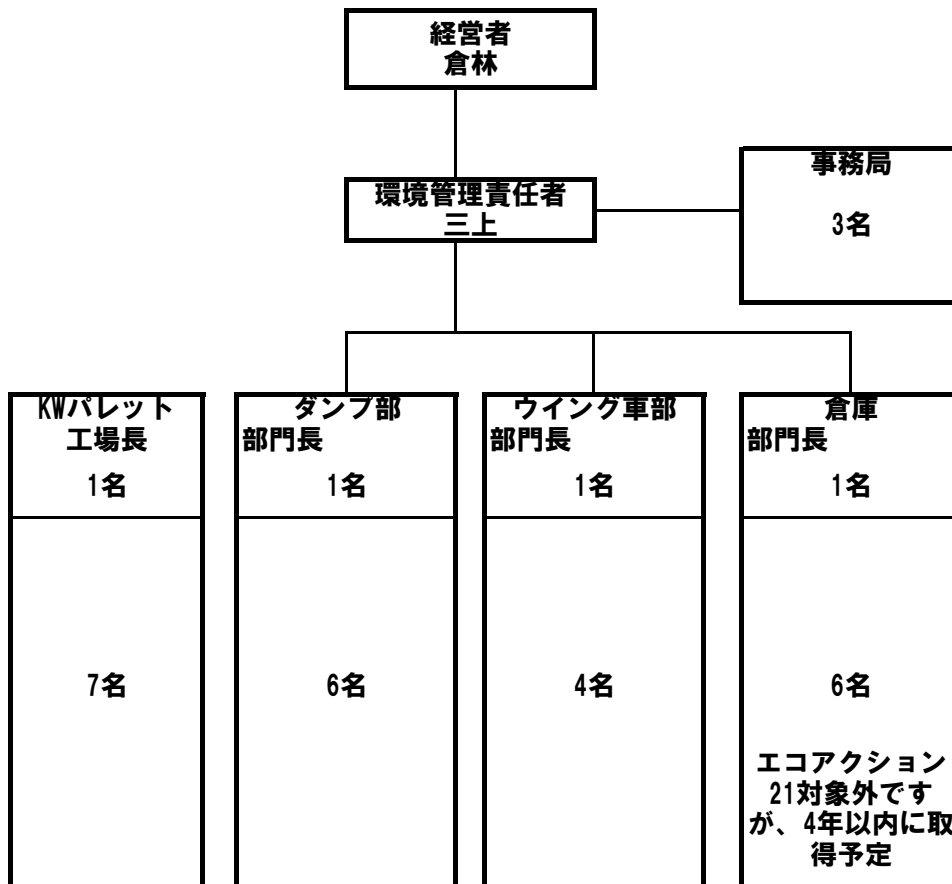
制定 2014年12月1日
改定 2015年5月31日
改定 2016年3月31日
改定 2019年4月23日
改定 2022年4月1日
光和産業株式会社
代表取締役

式会社

念林 克典

エコアクション21

3. 環境経営システム組織図



全32名

組織の構成員	役割・責任・権限
経営者	①環境方針を定める。 ②環境管理責任者を任命すると共に、環境経営組織、役割、責任を定める。 ③必要な経営資源を提供する。 ④活動の実績を環境管理責任者に求め、見直しを行い、必要な指示を行う。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、運用の責任者と権限を有する。 ②運用状況の全体について把握し、代表者に報告する。
事務局	①環境管理責任者を補佐し、環境経営システムを円滑に運用する。
部門長	①環境方針、環境目標、環境活動計画の自部門に関連する活動及びその他環境管理責任者からの指示事項についても実践する。
従業員	①部門長から指示のあった事項について実践する。

4.環境経営目標と実績

作成日：2023年4月26日

作成者：三上 力

No.	目 標	2017年度実績値		2021年		2022年		2023年		関係部門	責任者
		2017年4月～2018年3月		2021年4月～2022年3月		2022年4月～2023年3月		2023年4月～2024年3月			
		基準値	単位	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
1	二酸化炭素排出量の削減	783,954 (10,626)	kg-CO2	3%減	達成率 117%	3%減	達成率 114%	3%減	達成率 %	管理部	三上
				760,435	652,662 (10,169)	760,435	665,147 (10,182)	760,435			
2	電気使用量の削減	21,834 (11,412)	kWh	1%減	達成率 95%	1%減	達成率 90%	1%減	達成率 %	事務局	徳田
				21,616	22,680 (12,681)	21,616	23,945 (14,960)	21,616			
3	軽油使用量の削減	292,315 (1,342)	L	3%減	達成率 118%	3%減	達成率 116%	3%減	達成率 %	管理部	三上
				286,469	242,478 (1,240)	286,469	246,846 (910)	286,469			
4	ガソリン使用量の削減	3,449 (450)	L	1%減	達成率 136%	1%減	達成率 126%	1%減	達成率 %	管理部	三上
				3,415	2,515 (455)	3,415	2,704 (380)	3,415			
5	水使用量の削減	91.9 (3.85)	m ³	1%減	達成率 111%	1%減	達成率 115%	1%減	達成率 %	事務局	箕輪
				91.0	81.68 (1.98)	91.0	79.32 (7.93)	91.0			
6	一般廃棄物の削減	176.0 (24)	kg	1%減	達成率 111%	1%減	達成率 117%	1%減	達成率 %	事務局	箕輪
				174.2	157.0 (29.0)	174.2	149.0 (28.0)	174.2			
7	輸入先への監査	1	回	—		—		1回		事業局	三上

* 実績値欄の()内の値はKWパレットセンターの実績値で、全体の内数です。

* CO2排出係数は東京電力の2017年調整後の0.462kg-CO2/kWhを使用します。

* 2022年度に倉庫業の立ち上げを行い、2023年度には、電気使用量など環境負荷量を測定し、2024年度から環境経営目標を設定する。

5. 環境経営計画とその取組結果と評価及び次年度の取組内容

作成日：2023年4月26日 作成者：三上 力

取組結果の記号：○＝100%以上目標達成、△＝80～100%目標未達成、×＝80%以下目標未達成

No.	目 標	基準値 2017年度実績値 (2017年4月～2018年3月)	単 位	(2022年4月～2023年3月)		環境活動計画	取組結果	評価 及び 次年度の取組内容
				目標値	達成率			
1	二酸化炭素排出量の削減	783,954 (10,626)	kg-CO2	3%減	114%	電気使用量の削減、 化石燃料の使用量の削減	○	今年度は、前年度と比較すると全体の使用量が増加している。次年度は、更に使用量の増加が見込まれる。節電、エコドライブでCO2排出量の削減を継続して行きたい。
				760,435	665,147 (10,182)			
2	電気使用量の削減	21,834 (11,412)	kWh	1%減	90%	省エネ(事務機器、照明具等の不 使用時の電源管理の徹底、エア コン夏季、冬季の温度管理等)	△	今年度は、KWパレットセンターでの新規事業の稼働が始まり電気使用量が増加した。本社は、節電で 使用量の削減ができています。次年度もKWパレットセンターは、プレカット機の稼働率が上がるのを見込み、 使用していない電気製品のコンセントを抜きCO2排出量を削減する。
				21,616	23,945 (14,960)			
3	軽油使用量の削減	292,315 (1,342)	L	3%減	116%	車両の定期整備(一定走行量での オイル交換の徹底)、エコドライブ、 アイドリングストップの周知徹底、	○	今年度は、本社での業務内容の変化で使用量が増加した。KWパレットセンターは、フォークリフトでの 作業が減り使用量が減少した。次年度も運賃経路の見直しで効率の良い配車計画をたて、CO2排出量を削減する。
				283,546	246,846 (910)			
4	ガソリン使用量の削減	3,449 (450)	L	1%減	126%	車両の定期整備(一定走行量での オイル交換の徹底)、エコドライブ、 アイドリングストップの周知徹底、	○	今年度は、業務が増加に伴い、営業車両の増車もあり、使用量が増加した。ここ数年、燃料の高騰が 続いている為、次年度は、エコカーに代替してCO2排出量を削減する。
				3,415	2,704 (380)			
5	水使用量の削減	91.9 (3.85)	m ³	1%減	115%	車両洗浄での洗浄水の削減(蛇 口の調整や時間管理等)	○	今年度も積載貨物の変動が多く荷台洗浄が増加した。次年度は、効率良い配車計画で荷台洗浄を減 らしCO2排出量を削減する。
				91.0	79.3 (7.93)			
6	一般廃棄物の削減	176.0 (24)	kg	1%減	117%	コピー用紙のリサイクル、ごみ分 別の徹底	○	今年度は、広告類、不要なFAXは、設定し印刷しない用にして、コピー用紙を減らした。為に社内・ 外の連絡等をメールで行って用紙使用量を減少した。次年度は、ゴミの分別を上手に行いリサイクル可能な商品を増やしCO2排出量の削減する。
				174.2	149 (28)			
7	輸入先への監査	1	回	1回	輸入先からの状況レポート	—	今年度は、輸入先国への入国が困難であった為、現地状況レポートで確認。次年度は、現地での調 査を行う。	
8	化学物質の削減				化学物質の使用は有りません。			

* 実績値欄の()内の値はKWパレットセンターの実績値で、全体の内数です。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

責任者 三上 力

法規制等の名称	該当する要求事項 (対応すべき事項)	点検・測定頻度、実施時期	順守評価	
			証拠	判定
廃棄物処理法	・委託基準：一廃収集業者の許可の確認	・1回/年	許可証	○
	・委託基準：産廃収集運搬・処理業者の許可の確認、 契約	・契約書・許可書 につき1回/年	契約書・許可証	○
	・保管基準 掲示板：60cm×60cm以上表示 飛散・浸透防止 衛生管理		現物	○
	・マニフェスト交付 B2票10日以内に送付されない場合は30日以内の知 事への報告	・マニフェスト新規交 付時又は月末	マニフェスト伝票	○
	・特別管理産業廃棄物管理責任者の設置		届出書	該当なし
	・特別管理廃棄物の帳簿の作成		記録	該当なし
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	・6月末まで	報告書	○
	・自社による運搬時の表示、書類携行	・毎月1回	複写	○
一般廃棄物 排出	神栖市の一般廃棄物収集運搬許可業者に委託している。		神栖市の処分 焼却処理	○
浄化槽法	・浸透式5人槽設置届(本社) マエザワ浄化槽(合併嫌気ろ床接触ばっ気 方式) VR-5型	平成27年9月14日 届出、受理完了	届出書	○
	・側溝5人槽設置届(KWパレットセンター) ニッコー浄化槽(分離接触ばっ気方式) PC-5型	平成31年1月23日 届出、受理完了	届出書	○
	・定期検査	1回/年	水質検査記録	○
	・保守点検及び清掃の実施	保守 4回/年 清掃 1回/年	記録類	○
自動車NOX・ PM法	対策区域内で排気ガス規制に適合した自動車の使用	車検証に記載	届出書	○
公害防止条例	揚水機の吐出口の断面積が6cm ² を超えるもの。 エバラ 32HPA5.4Sを使用。(口径32mm)		2017/12/15 届出書	○
フロン排出抑制法	定期点検該当機種 of 取扱はありません。(7.5KW以上のエア コン、冷凍・冷蔵機器等)	簡易点検/3か月毎		○

以上より当社は、該当する法律に対して適切に遵守し違反はありませんでした。

また当社の活動に対して訴訟等はありませんでした。

7.代表者による全体評価と見直しの結果

代表者： 倉林 克典

環境管理責任者： 三上 力

作成 2023年 4月 28日

環境管理責任者から提供された情報	環境管理責任者は各項目毎に問題点等を判りやすく整理して代表者へ提供する。
①目標の達成度及び環境活動計画の実施状況 (確認文書名)環境目標一覧表、環境活動計画・実績表	今年度は、全体的に使用量が増加しているが無駄に増加しているとは思えない。業務内容が幅広くなったのは、プラスになっている。燃料の高騰で厳しい状況だが全社員が協力してくれた結果だとも思う。次年度も厳しい状況が続くが節電、エコドライブ、リサイクルでCO2排出量の削減したい。
②法令等の遵守状況 (確認文書名)環境法令等一覧表	適切に運用されているので問題はありません。
③問題点の是正処置及び予防処置の結果 (文書名)不適合・是正処置報告書	継続して、電気使用量の増加傾向の為、使用量のデータをグラフ化して掲示する事を継続したい。
④外部からの苦情等の受付結果 (文書名)環境(社内/社外)情報受付台帳、環境(社内/社外)情報対応記録	外部からの苦情に関する情報はなかった。
⑤法令等の動向	特になし
⑥その他のEMSに関する問題点 (文書名)環境方針、運用体制及びその他EMSに関するもの	

代表者からの環境管理責任者への指示事項	環境方針	変更の必要性	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無	
		指示事項	節電とエコドライブの徹底。		
	環境目標	変更の必要性	<input type="radio"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 無	
		指示事項	今年度は、新しい設備も稼働にのり電気使用量が増加しましたが無駄な増加では有りません。今回の増加は、売上に繁栄されていますが削減するところがあると思います。日々の点呼、ミーティングでエコドライブと電気の使用方法について伝える必要があると思います。エコアクション始めて12年の成果だと思っています。		
		変更の必要性	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無	
	環境活動計画	指示事項	次年度は、勤務時間短縮で節電、待機時間短縮で軽油使用量を減少、リサイクル活動を徹底し全社員でCO2排出量を削減を考えて行動する。		
		変更の必要性	<input type="radio"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 無	
	環境経営システムのその他の要素	指示事項			
		変更の必要性	<input type="radio"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 無	